

開成南小学校 学校だより

みなみの風



平成
30年
6月



たくさんの方々に お越しいただきました！

6月16日(土)
学校公開 引渡訓練



6月16日(土)、開成南小学校で今年度の“一日学校公開日”が開催されました。保護者の方々をはじめ、今年4月に設立されたみなみ自治会の方々にも、大勢お越しいただきました。

来年度入学児の保護者の方々も、何名か開成南小学校内まで足を運んでいただいたようですが、児童たちの学校生活の様子を御覧いただいたり、先輩保護者の仲間ともお会いになられたりして、満足いただけたなら幸いです。

また、下校については、町内小学校一斉に引取訓練を行い、学校全体で災害等に対する意識を高め、安全について再確認をしました。

地域をはじめ、多くの方々の御理解と御協力に感謝いたします。



学校生活の充実と向上のために 活動していこう！

5月22日(火)
委員会朝会

5/22(火)の朝会で、児童会の各委員会が決めた今年度のテーマを紹介しました。

児童会活動を通して、「望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度が育つ」ことが期待されていますが、9年目を迎えた開成南小でも、初心を忘れず、活動が実践されていきます。新たな“目標”が達成されるよう、自分たちで頑張ります！



H30 児童会目標「START」

～ 一歩踏み出そう 一人一人目標をもって ～



☆ 企画委員会

「ほっとスマイル ～気持ちのよいあいさつを広めふれあいを深めよう～」

☆ 園芸委員会

「南小の花だんを誰が見ても笑顔あふれるきれいな花を咲かせよう」

☆ 音楽委員会

「響け ～学校全体にきれいな歌声が響いている開成南小にしよう～」

☆ 掲示委員会

「みんなが笑顔になれるような掲示物を作ろう」

☆ 体育委員会

「全校のみんながルールを守って元気に楽しめる南小にしよう」

☆ 図書委員会

「ルールを守りたくさんの人が積極的に来るような図書室にしよう」

☆ 美化委員会

「自分から積極的にそうじをしてきれいな開成南小学校にしよう」

☆ 放送委員会

「全校のみんなが明るい気持ちになれるような楽しい放送にしよう」

☆ 保健委員会

「手洗いうがいので元気のある健康な学校にしよう」



目標達成！



あ るいての移動もがんばりまし
た。道のりで片道7km弱あり
ますが、坂道も踏破しました。
し んばいしていた梅雨入り後で
も、晴天に恵られました。日ご
ろの行いが反映されました！
が っこうよりも、気温が3度以上
低くて、さわやかでした。夜も
涼しく、よく眠れました。
ら イスカレーもおいしくできまし
た。おこげも少なく火加減ばっ
ちり！にんじんとジャガイモは
やや硬めでしたが……。

関東地方の梅雨入りが「6/6 ごろ」と発表されたまさにその翌日から、今年度の林間学校が実施されました。事前の心配をよそに、当日は30℃を超える暑さの晴天となり、作業や野外学習での爽やかな汗に、高原の涼風が心地よい行事となりました。

ふれあいの村の係の方々から、「特に、鍋や釜の洗い方がたいへん丁寧で、きれいに返却されており、すばらしい！」と、お褒めの言葉を賜りました。

さすがの5年生！今後の活動に期待をさせてくれますね。



プールはきれいになって 準備完了です！



5月31日(木)
6年生プール清掃



6月の始まりと同時に一気に気温が上昇し、例年より早い梅雨入りと併せて、盛夏を感じます。そんな6月を目前に、今年もプール清掃を行いました。担当するのは6年生。開成南小の最上級生としての任務もあります。が、昨年に引き続き、夏休み期間中は、町の自治活動応援課の主管による開成南小学校プールの一般開放が行われます。後輩ばかりでなく全町民の期待を担うプール清掃には、やる気がみなぎりしました。

学校の授業では1ヵ月程の使用ですが、その倍以上の期間を、本校プールは利用されることになります。

夏の暑い日に入る、プールの水の心地よさや水遊びの楽しさ、そして何よりプールを使う人たちの笑顔を思い浮かべながら、頑張って作業を進めました。

準備はばっちりです。皆の喜ぶ顔が楽しみです。



季節のたより

もうすぐ「7月」。「7月」はどう発音して読みますか？「ふみづき(ふづき)」と読まれるロマンチストの方もいらっしゃるかもしれませんが、通常は「しちがつ」or「なながつ」のどちらかの読みでしょう。「7」の読み方に定まったルールは無く(一から数えるか、十からカウントダウンするかで違うという説もありますが…)、

「『しち』がつ」と発音すると「ひ」と「し」または「い」の区別が付きにくいと判断する場合等、あえて「『なな』がつ」と使うTV局アナウンサーなどの暗黙の共通理解などもあるようです。

早口で大きく口を開けるのが苦手とされる、江戸っ子の特徴が関連していると思うかもしれませんが、「ひ」と「し」に関してはそうでもないようです。大阪の製薬会社に「七ふく(=ひちふく)」というブランドがあったり、昔から日本全国で一応は区別されて発音され、聞く側もやや苦労しながら聞き取っていた経緯や入れ違ったままの定着などもあったりするそうです。元が似たような音であり、日本人にとっての「L」と「R」や「い」と「𛄁」、「え」と「𛄁」、「お」と「を」の発音や聞き取りの違いのようなものかもしれません。ちなみに「日比谷」と「渋谷」の地名の発音や聞き取りの区別も、東京のタクシー業界では聞き分け難い語句であるそうです。

友人がアラスカへ行って、とても寒かったので、あったかい「コーヒー」をオーダーしたら、よく冷えた「コーラ」が運ばれてきたという話を思い出しました。外国語活動もそうですが、生育・生活環境や言語環境って、けっこう奥が深くて興味を惹かれますね。本校内では自然に使われている「よこはいり(=割り込み)」は、神奈川県の方言であることを、最近になって知りました。(担当)

